

卓球競技専門部の対策

【参加者について】

1. 大会会場内への入場は、大会に登録している選手・監督・引率・アドバイザー（コーチ）、応援者、大会役員・審判・来賓等のみとする。応援者は、登録選手1名につき1名とする。（保護者、登録選手以外の選手や登録していないコーチを含む）
※ 大会会場の収容人数等と大会参加人数を検討した結果、上記のように制限する。
 2. 全参加者は、（別紙1）体調記録表を大会2週間前から記入すること。選手・アドバイザー（コーチ）に関しては、（別紙1）体調記録表を監督に提出すること。（顧問が保管）監督は、（別紙1）で選手・アドバイザー（コーチ）の状況を確認し、（別紙2）学校同行者体調記録表にまとめ、当日、本部受付に提出すること。応援者の代表は、当日、（別紙4）応援者（保護者等）体調記録表を監督に提出し、監督が本部に提出すること。体調不良者は参加を認めない。
- | |
|---|
| ※ 提出物一覧（朝受付時）
<input type="checkbox"/> （別紙2）学校同行者体調記録表 ← 選手・監督・アドバイザー（コーチ）分
<input type="checkbox"/> （別紙4）応援者（保護者等）体調記録表 ← 応援者分 |
|---|
3. 応援者用のAD（認定）カードは、所属中体連の指導のもと、各参加校で準備する。応援者は会場にいる間、常に応援者用ADカードを身に付けること。ADカードがない場合、会場への入場はできない。
※ 監督は大会前に、応援者へADカードを配付すること。
※ 応援者（保護者等）の入れ替わりは認めるが、入場する予定の全ての応援者を（別紙4）応援者（保護者等）体調記録表に記載し、事前に提出すること。
 4. マスク等を着用すること。
 - ・ 大会中は、競技中や食事中を除いては、基本的にマスク等を着用する。
 - ・ ベンチ待機中の選手、監督、アドバイザーもマスク等を着用して試合に臨む。
 - ・ 大きな声を出しての応援は禁止する。
 5. 更衣室で選手が密にならないよう、一度に利用できる人数を制限する。
 6. 引率者等は、こまめに手洗いを行うよう選手に指導する。またマイタオルを持参し、使用するよう徹底する。トイレに並ぶ場合は十分な距離（2m以上）を空けること。
 7. 試合をしていない時は、観覧席に座っての試合観戦を認めるが、十分な距離（2m以上）を保って観戦し、大声を出しての応援はしないよう、チームで応援者に注意喚起を行うこと。
 8. その他、三つの密「密閉・密集・密接」の回避や、「人と人との距離の確保」「手洗いなどの手指消毒」をはじめとした基本的な感染防止対策を各自しっかり行うこと。

【試合について】

1. 開会式・閉会式は実施しない。表彰式のみ行う。
2. 試合中の選手はマスクを外すこと。
3. 試合が終了するたびに、こまめな手洗いや消毒等を行うこと。
4. 対戦相手や審判等との握手、手をつないだり肩を組んだりしての円陣、ハイタッチなどはしないこと。
5. ベンチコーチのアドバイスは、選手との距離を取った上で行うこと。
6. ベンチでの応援は拍手のみとする。大声をだしての応援は禁止する。
7. 用具、用品（ラケット、タオル、ウェアなど）のシェアをしないこと。また、飲料水に関しては、マイボトルを用意し、チーム内でのコップの共有、使い回しをしないこと。
8. コール時に呼ばれた学校の代表者は、対戦表等を本部に取りに来る。また、1試合終了後、勝利した学校の代表が対戦表やクリップボード・鉛筆・ボールと一緒に本部へ持って行く。
9. 試合はゲームごとのチェンジエンドは行わず、ゲーム間はラケットを自分のコートの上に置いておく。また、ゲーム中、手の汗を卓球台で拭いたり、シューズ裏で拭いたりしないこと。
※ 1試合終了ごとに、大会役員にて使用した台、ボールの消毒を行う。

【その他】

1. 感染防止のために本部が決めた措置を遵守し、その指示に従うこと。
2. 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、県中体連事務局に速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
3. 各記録表提出や、参加者が遵守すべき事項について、協力を得られない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
4. 本大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する場合がある。